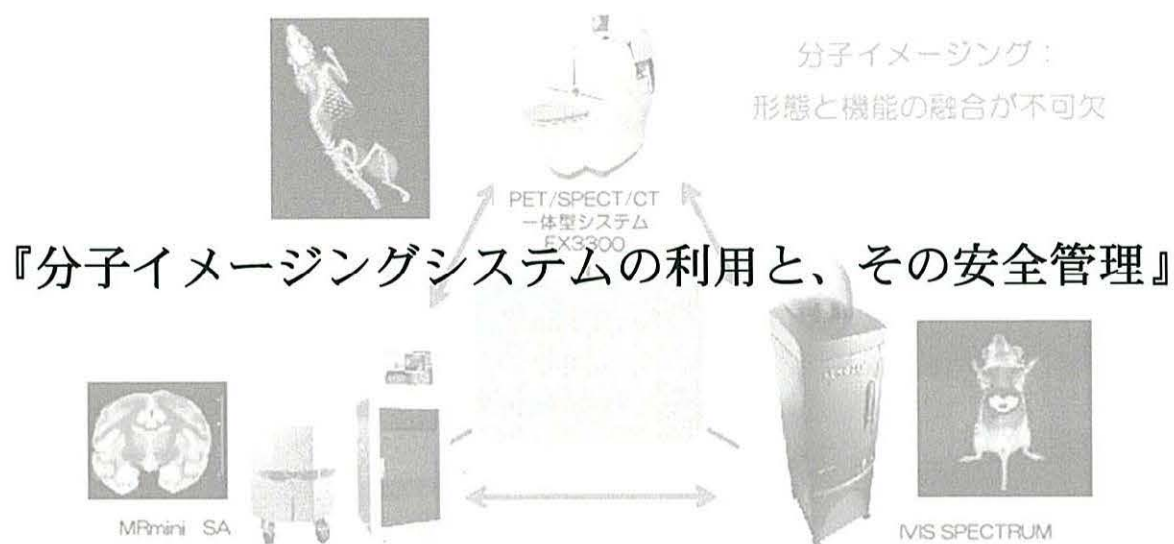


平成24年度

放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修

第2回分子イメージングに関する教育研修プログラム

合同研修会



実施日：平成24年10月18～19日

実施場所：国立大学法人京都大学

環境安全保健機構・放射性同位元素総合センター

平成 24 年度放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修
第 2 回分子イメージングに関する教育研修プログラム
合同研修会実施要領

1. 目的及び経緯

放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修は、大学等における放射性同位元素の利用範囲の拡大や利用形態の多様化に伴い、放射線安全管理の徹底を図ることが益々重要となってきたことから、大学等の放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当教職員に対し、実習を含めた最新の知識と情報を提供し、その資質向上を図り、もって、教育・研究の進展及び施設周辺をも含めた放射線安全の確保を図ることを目的とし、平成 15 年度までは、文部科学省と国立大学アイソトープ総合センターとの共催により開催されてきた。平成 16 年 4 月の国立大学法人化後は、文部科学省との共催は困難になったが、これまで同研修を担当してきた東京大学、京都大学、東北大学、名古屋大学、大阪大学の 5 大学アイソトープ総合センターが共催で、研修実施会場校を持ち回りで開催してきた。

昨年度には、PET・SPECT 等を用いた分子イメージングが、放射線を用いた研究のトレンドの一つとなっていることから、国立大学アイソトープ総合センター長会議において分子イメージングに関する放射線安全管理担当教職員を研修対象として意識した研修会開催の重要性が提唱され、「第 1 回分子イメージングに関する教育研修プログラム」が北海道大学アイソトープ総合センターで開催された。このような状況を受け、平成 24 年度放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修は、テーマを分子イメージングに焦点を当てて、「第 2 回分子イメージングに関する教育研修プログラム」との合同開催の形で、京都大学の放射性同位元素総合センターを会場校として開催することとなり、同センターで受講申込みを受け付ける。

2. 主催

国立大学アイソトープ総合センター長会議
東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター
東京大学アイソトープ総合センター
名古屋大学アイソトープ総合センター
京都大学環境安全保健機構放射性同位元素総合センター
大阪大学ラジオアイソトープ総合センター

3. 研修期間及び会場

期間：平成 24 年 10 月 18 日（木）～19 日（金）
会場：京都大学環境安全保健機構放射性同位元素総合センター

4. 受講資格

1. 各大学等の放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当教職員であること。
2. 受講申し込み時点までに所属機関で放射線業務従事者として登録されていること。

5. 受講定員

3 6 名程度（合同研修会全体としての定員数となります）

6. 申込み及び決定

(1) 申込み

各大学（機関）の長は、希望者を別紙様式（1，2）により、平成 24 年 8 月 20 日（必着）までに、京都大学環境安全保健機構放射性同位元素総合センター長に推薦すること。（2 名以上の場合は優先順位を付すこと）。

なお、希望者が不在の場合においては、別紙様式1の「事務連絡先」欄のみ記入し、その旨回答してください。

(2) 受講者の決定

京都大学環境安全保健機構放射性同位元素総合センター長は、前項により推薦された者の中から、協議のうえ受講者を決定し、受講申込者の所属大学（機関）の長に通知する。

7. 研修課題及び内容

7.1 研修課題

『分子イメージングシステムの利用と、その安全管理』

7.2 研修内容

(1) 講義：

基調講演. 『分子イメージングの活用による医療イノベーション

Medical Innovation by efficient use of Molecular Imaging』 理化学研究所神戸研究所 渡辺 恭良

講義Ⅰ. 『放射性物質の生体内動態

—被ばくから臨床画像診断・治療への展開まで—』 京都大学 佐治 英郎

講義Ⅱ 『最近の法改正の概要と分子イメージングに伴う変更許可（承認）申請』

物質・材料研究機構 杉山 和幸

講義Ⅲ. 『分子イメージング装置使用における放射線管理業務の工夫』

北海道大学 野矢 洋一

大阪大学 金井 泰和

長崎大学 松田 尚樹

京都大学 庫本 高志

講義Ⅵ. 『実験動物を取り扱うには』

(2) 実習：

分子イメージングシステムを使用した実習

*京大内の施設の見学も予定しています。

8. 経費

研修費（受講料）は無料とし、研修旅費は派遣大学（機関）の負担とする。

9. その他

各放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当教職員については、一定期間ごとに放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修を受講させるよう、ご配慮願います。

〈本件連絡・申込先〉

京都大学 放射性同位元素総合センター

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町(事務担当:小林)

電話 : 075-753-7530

F A X : 075-753-7540

M a i l : rix@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

平成 24 年度放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修
 第 2 回分子イメージングに関する教育研修プログラム 合同研修会 研修日程

| | |
|------|-----------------------|
| 8 | <第 1 日> |
| 8:30 | 受付、登録 |
| 9 | 開会式、ガイダンス |
| 10 | 基調講演 9:15-10:15 |
| | 休憩 |
| 11 | 講義 I 10:25-11:25 |
| | 記念撮影 |
| 12 | (昼食) |
| 13 | 講義 II 13:00-14:30 |
| 14 | 移動 |
| 15 | 見学 14:40-15:40 |
| 16 | 移動 |
| 17 | 講義 III 15:50-17:00 |
| | (移動) |
| 18 | 参加者交流会 17:30- |
| 19 | |

基調講演： 9:15～10:15
 『分子イメージングの活用による医療イノベーション
 Medical Innovation by efficient use of Molecular Imaging』
 理化学研究所神戸研究所 渡辺 恭良

講義 I： 10:25～11:25
 『放射性物質の生体内動態
 ー被ばくから臨床画像診断・治療への展開までー』
 京都大学 佐治 英郎

記念撮影：教育訓練棟 3F 講義室 11:25～11:45

講義 II： 13:00～14:30
 『最近の法改正の概要と分子イメージングに伴う変更許可
 (承認) 申請』
 物質・材料研究機構 杉山 和幸

見学：iPS 細胞研究所 14:40～15:40

講義 III： 15:50～17:00
 『分子イメージング装置使用における放射線管理業務の工夫』
 北海道大学 野矢 洋一
 大阪大学 金井 泰和
 長崎大学 松田 尚樹

参加者交流会：楽友会館 17:30～19:30

| | |
|------|--------------------------|
| 8 | <第2日> |
| 8:40 | 受付 |
| 9 | 講義VI 8:50-9:30 |
| | 休憩 |
| 10 | 実習説明9:35-9:50 |
| | 装置の取扱いについて 9:55-10:40 |
| | 休憩 |
| 11 | |
| 12 | PET実習 10:50-12:50 |
| 13 | (昼食) |
| 14 | |
| 15 | SPECT実習 14:00-16:00 |
| 16 | 実習総括 16:00-16:30 |
| | 閉会式 (修了証書授与・挨拶) |
| 17 | 解散 |

| | | | |
|---|-------------|-------------------------------|--------------------------|
| 講義VI: 『実験動物を取り扱うには』 | 8:50~9:30 | 京都大学 | 庫本 高志 |
| 実習:実習の説明 | 9:35~9:50 | 京都大学 | 木村 寛之 |
| 実習:装置の取扱いについて | 9:55~10:40 | キヤノンマーケティングジャパン株式会社 | |
| 実習I:PET実習 A班 ジェネレータ → PET B班 PET → ジェネレータ | 10:50~12:50 | 総括:京都大学 補助:京都大学 | 木村 寛之 センター職員 |
| 実習II:SPECT実習 A班 SPECT → 解析 B班 解析 → SPECT | 14:00~16:00 | 総括:京都大学 解析:大阪大学 補助:京都大学 | 木村 寛之 渡部 浩司 センター職員 |
| 実習:総括 | 16:00~16:30 | 京都大学 | 木村 寛之 |
| 閉会式: | 16:45~17:00 | | |